令和7年度　未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書（報告書）

学校番号		学校名	●●高校	全・定・通		在籍生徒数	名

スクールポリシー（学力に関するもの）	各校で育成を目指す資質・能力に関する方針です。
グラデュエーションポリシー	生徒の卒業後の姿を見据えて、生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める方針です。

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ

- 自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
- 目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出
- 主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善
- ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 文理の枠を越えた教科横断的・総合的な探究課題への取組

具体的な取組

生徒主体の授業への転換のための取組テーマをふまえた具体的な取組です。

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移（%）	R7中間	R7末
（各校の授業アンケートに基づく）		
1.自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
2.話用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
3.授業や単元の始まりに目標を確認することができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
4.授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
5.授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
6.授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる （①強くそう思う, ②そう思う）		
7.授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った （①強くそう思う, ②そう思う）		
8.他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた （①強くそう思う, ②そう思う）		
9.学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた （①強くそう思う, ②そう思う）		

生徒アンケート結果の3学年分の平均値です。

総合評価（学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む）

各教科の取組　※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。

教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組
国語		3.8	4.2	
地公				
数学				
理科				
英語				
芸術				
家庭				
保体				
情報				
総探				

教育目標や育てたい生徒像をふまえ、学習指導要領の理念とスクールポリシーに基づき、生徒の特性等を踏まえて、教科等の指導において育成する資質・能力を定めています。

生徒による達成度の5段階評価のアンケート結果です。年度の中間と年度末の2回実施し、その変化を見取ります。そしてこの数値を一つの材料として、授業担当の先生方の評価をふまえて、生徒の学習改善や教師の指導改善にいかすことに活用しています。目標や取組は学校ごとに異なるため、他校の数値との単純な比較はできません。